



號一十七第
 月八年八十和昭
 行發日十・回一月每
 行發日十・回一月每
 錢五部一價定
 錢十六(共稅)分年
 一才 田杉 編兼行發報
 園公谷比日區町魏都京東
 社信通盟同 所行發

一朝ここある場合

總員武装の用意あれ

社長 古野伊之助

關西 方面の旅行から今朝歸つたばかりなので、この数日間の外電は、まだ見てゐないが、最近全般の情勢からみて、いよいよ世界大戦が決戦の段階に入つたことを痛感する。

地方を廻つてみると、至るところ、この戦争がどうなるだらうかといふので、いづれも眞剣な気持ちで事態の推移を注視してゐるやうに思はれる。

アメリカはさきのアリユンヤン反抗作戦に次いで、ニューギニヤ、ソロモン方面にも死物狂ひの反撃に出てきたが、過去一ヶ年間にその大きな資源と、生産力、技術、あらゆる部面の總力を結集して漸く戦備を整へ、その戦力を提げて東亞における反撃を開始するにいたつたものと認められる。

恐らくはアリユンヤンにおける同じやうにソロモン、ニューギニヤなどの線においても、わが軍の五倍、十倍の兵力と、これに伴ふ装備をもつて襲ひかかつて來てゐることは明かである。

これに對して、わが陸海部隊、陸海航空部隊は血みどろの血戦を繰返してゐるのである。

大本營

發表の一言半句もぼんやりして、

れを讀んでゐてはならぬ。この裏面にかくされた、この血みどろの死闘、これこそ東亞を守り抜く力である。おそらくはビルマ戦線においても反撃攻勢をとつてくることだらう。或はまた支那大陸を足場に、或は北方を足場に、日本本土に空襲の脅威を與へるべく必死の擡擡を續けることと思ふ。これらを徹底的に破摧しなければ、東亞の新秩序も、共榮圏も、ただ一枚の空文に歸するのではないかかうして最後まで粉砕し盡す力を結集してゆかなければならぬ。

決戦

の年、決戦の年といつてきたが、

てきたが、歐洲の情勢をみて、正に來るべき一年は本當に皇國日本の興廢を決し、人類の將來を決定する重大な決戦の一日であり、決戦の一月一月である。歐洲においても、或は東部戦線に、或は南部に獨軍の攻勢を斷片的にいろ／＼擡擡臆測されてゐるが今日なほ大きな動きをみせてゐない。誠に重大な時期だと思ふ。

田舎

を歩いてみると山本魂を生かせとか、

隊に續けとかいふやうな貼紙を至るところで見受ける。苟くも人の長たるものは先づ身を挺して苦難に當れといふことを、山本元帥は死をもつて國民にしめしてゐると思ふ。

これは紙に書いた文字ではない、どうぞわが同盟においても、五人六人の主任者たり、部長たり、局長たる諸君は、自ら預る同志の眞先に立つて、一番先に苦闘する決意をして貰ひたい。これが山本元帥が死をもつて示された教訓である。不肖私自身も及ばずながら諸君の陣頭に立つて最善の努力を盡して苦闘し、死物狂ひに闘ひ抜く積りである。

思想

の第一線に立つてゐるのである。

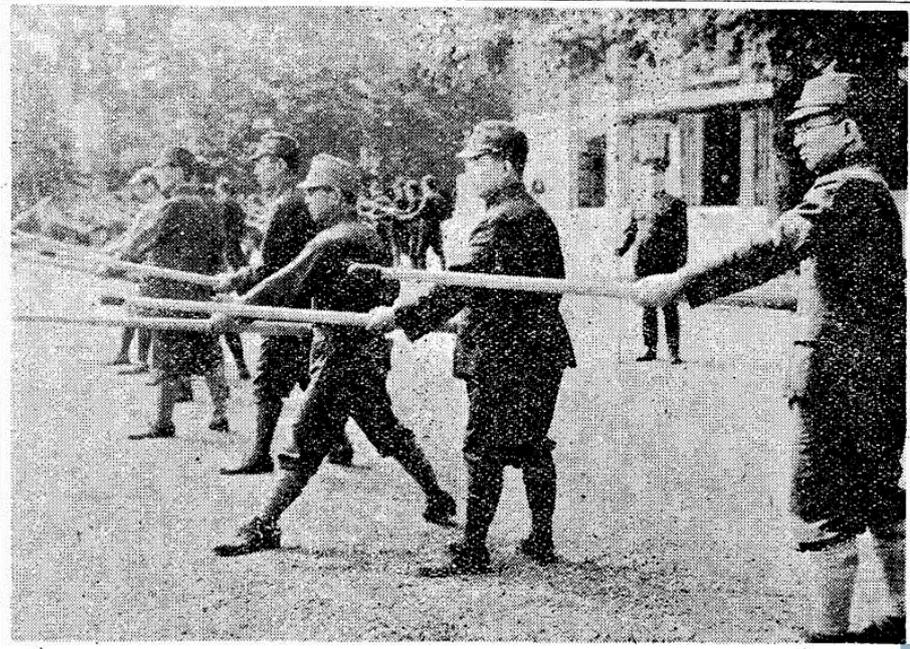
億擧つて國とともに生き、國とともに戦ひ、國とともに働かざるを得ないやが上にも固めてゆかなければならぬ。この國家の思想戦の第一線に立つわれわれ同盟の同志は、一億の國民に先立つて先づ考へ、先づ戦ふ決意がなくてはならぬ。われらは世界的情勢、國內の事象を誰人よりも早く察知し、感知することが出来る立場にある。しからばその立場にあるわれわれは内にあつては一億國民の志氣を昂揚し、東亞においては十億民衆の決意を固め、外に對しては徹底的に敵國の戦意を崩壊せしむべき戦陣を布かねばならぬ。

われわれはその日その日に起つてくる事象を捉へて、一億國民に先立つて知り、且つ考へなくてはならない。しかしわれわれは、どこまでも、この氣魄、この見識を間斷なく養ひつゝ、この戦闘を戦ひ抜いて行かなければならぬことはいふまでもないことである。かくてさきに或は産業報國會の編成を行ひ、多摩川畔に修練農場を拓くなど種々の

施策

を講じつつある次第である。

ある。最近また在郷軍人會同分會を中心に訓練をはじめた。かうしたいろいろの施策が何のために考へられるのかといふことを諸君は考へて貰ひたい。郷軍分會を設けてこれぞそれぞれの居住する地域で軍事教練を受けるのを回避するいふやうな愚かな考へをもつてゐるものがあれば、それは同盟の社員たるの資格において缺如してゐると斷定するに憚らな



同盟

は全職員を打つて一丸とする軍隊的組織の結

成に率先邁進してゐるのである。

い。歳が何歳であるから訓練を受ける必要はないなどと考へるやうな愚かしいものは今日の皇國日本の直面してゐる時局を認識せざるものである。歳が何歳であらうと老人も子供も、男も女も、一朝こある場合には必ず起つといふ準備がなければならぬ。われわれは内に對しては戦場を通じて國家の思想戦を戦ひ抜くべき戦士であるから、一朝こある場合は歳の老幼に論なく、全部が銃をとつて起つ覺悟がなくてはならない。この心構へと、この姿勢を正すために、われわれ

は全職員を打つて一丸とする軍隊的組織の結成に率先邁進してゐるのである。どうかそのつもりで間斷なく努力されたい。われわれは、われわれの戦場を通じて、今日の時局が如何に深刻なものであるか、且つ如何なる重大性を持つてゐるかといふことを全國民に一番先立つて判つてゐるべき立場にあるから、先づ自らの姿勢を正し、自らの決意を固めて、それぞれの戦場に精進しなければならぬと考へる。

絶えず同盟同志の心身の鍊磨鍛錬に意を用ひてゐるわけである。どうか私のこの氣持をよく理解し、これを實踐に移して戴きたい(昭和十八年七月八日日本社大詔奉戴式訓示、宮眞は本社産報訓練)

ムツソリーニとバドリオ

特信部長 下條雄三

ムツソリーニ

ムツソリーニについての思ひ出は、私にイタリヤへ行つたのが一九三七年の晩秋であるから、ファシスト政権は既に十五年の施政を終へ、基礎もなかなか強固となり、いはばその爛熟期に達してゐたといふことが出来るやう、乞食の國と聞き及んでゐたイタリヤは全く更始一新して、事實ローマ、ナポリ、ミラーノ、何所の都市でも、又田舎でも乞食の姿は見る事が出来なかつた。

さういつた社會の清掃は乞食ばかりでなく、結核退治の大サナトリウムの建設、勞働者の集團家屋の建設、國內アスファルト道路網の完備、リツトリアのボニファイカ・インテグラレ(農地完全改良)等々、眼にふれるもののごとく、整然と、しかも近代的に改善されてゐるのである。

ムツソリーニといふ男はこれは餘程のえらぶつであるに違ひない、とまづ彼の政治の立派さに驚かされたのである。

その後仕事の上でムツソリーニと會ふ機会があり、彼が國內の織物組合員を晚餐に招んだとき、英首相チエンバレンがローマを訪問した時などに、燕尾服、シルクハットといふ正装でヴェネツィア宮に招ばれたこともある。さういふときム首相は、日本の記者團代表として、唯一人の日本人として宴につらなる私を、彼自身や主客と同じメーン・テーブルの一角に坐らせるのである。それは『日本

好き』な彼の氣紛れからであるかも知れないが、私にとつてはイタリヤの『將軍様』であるムツソリーニを具に觀察することが出来てつねに仕合せと思つたのである。彼と會つた感じは、最初は傲岸で稍やとりつきにくいのであるが、たとへ五分間でも話をして、さて辭去しようといふときには、『この人はたしかに偉大な傑物である』といふ印象を抱かされるのである。これは私ひとりの感じではななく、彼と會つたすべての日本人の異口同音に言ふところである。すなはち人間としての掬みつくしがたい大きな魅力が、わづかの時間の應待のうちにも、よく相手の心肝に滲みとほるのであらうとおもはれる。

松の樹のやうに逞しい身體の持主である彼は、嘘のやうにやはらかくてあたたかい掌をもつてゐる。握手したときに、そのあたたかい掌で、これはとおもふほど強く握りしめられた。思はず見上げたとき彼の威厳を崩さない眼は何かいたづらつぽく笑つてゐるのをとても親しいものに感じたのである。

日本新聞協會の使節團がイタリヤに派遣されたとき、私も岩永前社長の命によつて團員の一人としてこれに加はり、一月ばかり『伊政府の客人』として國內を見學して廻つたことがある。私たちは何所へ行つても、ムツソリーニの命によつて、想像に餘る好遇を受けたのである。

ムツソリーニの警察聯隊の閲兵式にも客賓として招ばれた。又彼がローマ市内外の新規建設事業の

始工式に臨席するとき、わざわざ私たちを隨行せしめ、式場であらうと敷談し、『イタリヤを隅から隅までよく觀て歸つて下さい』

とまことに打ちとけたものであつた。威厳と親しさと不可思議な融和がまはし出す獨特な人格の魅力でも言はうか『アレが全國民を率ゐてゆく有力な武器なのだ』

これも人々の觀測の一致する點であつた。政治家になつてはならぬもの、そしてその完璧なもの、それを天惠的に備へ、それを修養によつて磨き上げてゐたのである。その彼が、忽如として『將軍』の地位を棄て、イタリヤ國民の前途を消したのである。七月二十四日の大評議會がそれを決したのだと傳へられてゐるが、委しい事情は未だ審かではない。イタリヤの事情をいくらかでも知つてをればこそ、かへつて彼の唐突の桂冠を解し兼ね、又それを惜しむのである。

代つて登場したピエトロ・バドリオ元帥、この人をもつとも有名なしたのはエチオピア戦争である。彼は伊軍の總司令官としてエチオピア戦争に『勝利』の終止符を打つたのである。國王エマヌエーレ三世陛下は、彼の功績を嘉され『アジスアベバ大公』の最高稱號を贈られてゐる。

しかし國王とバドリオ元帥との關係は、この戦争だけで堅く結ばれたものではない。今年七十三歳の老翁である元帥は、實に六十年に垂んとする長い間、すなはちファシスタ以前の昔から、イタリヤ王室の忠誠なる軍人として過ごしてきてゐる。陸士を振り出しに軍人となつた將軍は、十九世紀から

バドリオ元帥

驚くべき卓效

瀨波瀾沈

好ましからぬ病氣で仕事を離れ療養三昧に入つたのは十四、五年前の古いことだし、年も年であるそれに復職以來既に十餘年を経たが、その間のあらゆる病状日数を通算しても十日ぐらゐである。今更セファランチンでもあつた、と思ふのであつたが、しかし考へてみれば病氣は全治したわけでもない、いはば休火山である。活火山時代は『爆弾を抱いてゐるやうな』危つかしい、自らの肉體を可なりもてあました。それが休火山となつてゐるが更に死火山たらしめ得ばこれに越したことはない。

社の集團檢診でツベルクリン、

赤沈、レントゲンと一應の検査をやつて貰ふと果然「要治療者」の仲間に入つた。それから毎週一回の注射は必ず受け、毎夜茶斷ちの精進で錠劑服用を忘れずに續けてゐる。この結果餘りに速かな薬效に全く驚嘆させられた。薬がきいたといふことは、この場合薬がきいただけ病が残りつてゐたことの證明になることは勿論である。

幾度か死點附近を彷徨しつつ苦難の療養生活に喘いだ當時の病状は完全に跡形もなくつてゐるが大病特有の豫後に残された副次的の小症状の頻出は免れなかつた。仕事に差支へない程度のいりんな形の症状を指摘し得た。非開放性で道徳堅固な性質のやつだから、こんな症状はただ自分一個の忍耐を要する以外の何ものでもないのだが、これが次から次へと消えて行く驚くべき事實の前には頭を垂れざるを得ない。

夜寢床に横臥して枕に頭を埋むればラジオの雑音に似た耳鳴の音が寝つき前の數分間、内耳神經を刺戟する。感胃にかかつたり、腹をこはしたりすると、常人の經驗する症状以上にプラスがつく。思へば自らの肉體を「かくのごときもの也」とあきらめて、忍苦に馴れたのだが、それも十年を通り越した。

こんな症状のいくつかが一つ消え二つ去り、次々に消失してゆくのである。しかもこの頃では身内に勃々たるホルモンの新たる力の湧出すら感ずるやうになつてきた。これすべて長谷川博士發明の結核特效化學療法劑セファランチン療法を二ヶ月半ばかり受けただけで、くしくもあらはれた偉効なのである。あな貴きかな瀨波瀾瀾沈よ。(逸名氏寄)

二十世紀にかけて、統一後のイタリヤが戦つたすべて戦争に出陣した歴戦の勇士であり、第一次歐洲大戦が終つた一九一八年には陸軍參謀總長となつてゐる。その後政權がムツソリーニの手に移る前後ルーミアニアやアメリカへの特派使節となり、つづいて畑邊のプラジル大使を引き受けたこともあるが、一九二四年にはムツソリーニに迎へられて再び參謀總長の椅子に返り咲いてゐる。

或る年の夏季陸軍大演習に、私は樞軸國の記者團と共に、特に陪觀を許され、北伊ポー河の溪谷からアルプスの峻嶺にかけての演習地に行つたことがあつた。そして毎日のやうに國王の身近に在つて國王とイタリヤ陸軍の將星たちの統監ふりと談笑を見聞きたのであつた。

バドリオ元帥は陸軍の最長老であり、御野立所のあたりに彼の姿

を見ぬことはなかつた。國王は『バドリオ』、『バドリオ』と呼び棄てにされ、側近から御離しにならなかつた。時には何事か口論されることもある。さういふとき國王は、『僕のいふことをきいておきなさい』と言つて、微笑されてバドリオ元帥の肩をゆすぶられるのである。お年恰好も同じであり、お言葉も平俗な『君』、『僕』である。元帥は勿論『王様』とお呼びするのであるが、君臣といふよりは二人の老友の敷談といつた印象であつた。六十年來の老軍臣であるバドリオ元帥こそは、政治を離れた眞實の股肱の臣であり、彼に長い間殊遇を賜つてきたことも、決して偶然のことではないのである。

バドリオ元帥は今次の戦争の當初、陸海空三軍總參謀長として再出馬し、ムツソリーニの三軍指揮

を助けたが、まもなくギリシヤ戦争の失敗の責を引いて辭職した。その後は専ら國王の側近に出仕して御相談相手となつてゐた。

今次の政變で、バドリオ元帥が浮び上がったことは、國民の輿望でも、軍部の推薦でもなく、ひとへに國王のひたすらなる御信任の然らしめたところであらう。であるから、彼が就任の宣言において『國王の周圍に結集せよ』と力をこめて述べてをり、彼が組織した新内閣の顔ぶれを見ても、軍部内閣といふやうな匂ひはすこしもないのである。まさに王室中心の内閣である。

イタリヤの今後がどうなり、どういふ役割がバドリオ元帥を待つてゐるか？ それはここで觸れる筋合ひのものではなく、毎日の同盟海外電が傳へてゐるところから、正しい判斷を抽き出すことももつとも望ましいのである。

産報青少年輔導委員會規約

同盟産報では去る一月二十日閣議決定事項たる「勤勞青少年輔導緊急對策要綱」に基き勤勞青少年輔導委員會を組織し、青少年の剛健明朗なる生活態度の建設を目標とせる積極的指導に重點をおき、青少年の健全なる育成を圖ることにした。右委員會規約は次の通りである。

同盟産報勤勞青少年輔導委員會規約

第一條 同盟産報業報國會内に勤勞青少年輔導委員會を設置す。

第二條 委員會は勤勞青少年指導全般に關する施策の協議立案を爲すを以て其の目的とす。

第三條 委員會は左の事項に付協議す。

一、勤勞青少年指導施策に關する事項。

二、産報青年隊活動の強化培養に關する事項。

三、勤勞青少年の生活指導に關する事項。

四、勤勞青少年の厚生施設に關する事項。

五、勤勞青少年の輔導施策に關する事項。

六、其他必要なる事項。

第四條 協議會に左の役員を置く

一、委員長 一名

二、委員 五名

委員長は同盟産報業報國會々長のに當る。委員は産報業報國會役員、産報業報國會青年隊長其他勤勞青少年輔導關係者等に付、同盟産報業報國會々長のを命ず。

第五條 委員長は會務を總理す。委員は第三條に掲ぐる事項を協議す。

第六條 委員會は毎月一回之を開催す。

第七條 委員の任期は一年とす。但し重任を妨げず。

第八條 委員會に幹事若干名を置き委員長之を命ず。幹事は委員長之の命を承け庶務を整理す。

第九條 委員會に於て決定せる事項は支部協議會に對し上申す。

第十條 委員會の經費は同盟産報業報國會の經費を以て支辨するものとす。

第十一條 其他必要なる事項は會長之を定む。

朝鮮産報結成

同盟産報朝鮮地區總隊ならびに同京城支部結成式は六月十二日午前八時より京城支社において山崎總隊長、津吉京城第一、坂田京城第二荒井平壤、青山清津、小倉釜山各中隊長以下隊員六十餘名出席國民儀禮のち、總隊長より青年

同盟講習所補缺募集

同盟講習所では九月の新學期に左記要項により補缺募集を行ふ。

一、募集人員

豫科一年・同二年

電信・速記各科

電信速成科

一、願書締切 九月十日(金)

一、考査 九月十二日(日)

一、特典 電信・速記各科の成績優秀者には學資の補助をなす。

隊長、女子隊長、小隊長の指名あつて各支部結成報告、ついで總隊長挨拶、聖壽萬歳、同盟萬歳を三唱して同八時三十分閉會、力強き第一步を踏み出した。

なほ朝鮮においては産報の組織なく、内地の翼賛會と大同小異の國民總力朝鮮聯盟があるので、同盟と關聯をもたせ、對外的には「國民總力同盟京城聯盟」と呼稱することになつてゐる。

待望の本箱も新調され閲覧が比較的便利になつたので、今後文庫利用者是一段と増加し追々文庫の基礎も固められてゆくものと期待してゐる。本社刊行物などの寄贈をお願ひしたい。(名古屋支社文庫管理者伊藤藤)

名古屋支社 産報文庫を開設

同盟産報名古屋支部の初事業として七月三日「同盟産報文庫」を開設した。社からの補助は極く僅かで到底最初から全社員の需要を満たし得ないので編輯部の備付圖書を母體として寄贈、購入の二本建てやつた結果、七月二十三日現在で百五十三冊(内寄贈百十九冊)集まり、開設以來四日までの貸出冊数は約五百冊、平均して毎日全社員の三分の一が利用してゐる好成绩である。

多摩川鍊成道場の開墾作業一部完成

昨年本社勤勞青少年職員鍊成のため購入した多摩川畔の鍊成道場一萬數千坪の荒蕪地は昨秋鋤入式を行つてから山本、豊島兩幹事指導の下に本社青年團員を動員、開墾作業に専ら勤勞の汗を流しつつあつたが、今春本社産報が結成されるや指導者瀧川參事を加へ本社産報青年隊として毎日曜日を利用、開墾作業を續行した。この貴い勤勞作業により去る五月末をもつて割當區劃内開墾を豫定通り終了、産報青年隊の不撓の意氣をしめしたのであつた。

しかしして當初手を入れた所へは主として麥を播付けたが、約二段



對流圖

名古屋支社で「家ダニの市」

名古屋支社編輯部の幹旋によつて去る六月二十五日支社内において「家ダニの市」と銘打つて不用品交換會を開催した。何しろ初めの試みでもあるので、何を出品してよいか見當がつかず、中々出揃はなかつたが、結局約五十點の當世貴重な代物もあり、大半が飛ばやうに捌かれ好成绩であつた。今度も季節の變り目毎に開く豫定だ。大同盟有志諸君、同盟大家族主義實現の一助に、かうした和やかな諸計畫を樹て色々工夫して實施に移そうではないか。(虎魚生)



歩から刈入れた大麥、小麥各一俵の初收穫を擧げた。東京都廳、千葉縣廳の各當局その他より寄贈または購入した甘藷苗二萬六千本は既に青紫の葉を生々と陽に反射させて蔓りつつある。このほかトマト、胡瓜、茄子、粟、人參、牛蒡、玉蜀黍、落花生なども相當植付けであり馬鈴薯は七月中頃取入れを

難事業をなし遂げたわけである。最後に開墾完成の裏に番人として道場の移動舎に昨冬以來起居して日夜働いてくれた今野老人夫妻の大きな力があることを特記して、この報告を終る。(寫眞上は鐵を振ふる人の力闘、下は、楽しいお結び配給)